

ホームステイ、ホームビジットってなに？

外国の方を家庭に招き、一緒に生活体験することでお互いの国に対する理解を深める、そんな“お茶の間国際交流”のことです。その中で、宿泊を伴うものを『ホームステイ』、宿泊を伴わないものを『ホームビジット』、また、受け入れてくださる方々を『ホストファミリー』といいます。

普段着での交流を・・・とは言っても、外国の方を迎えるときはいろいろと緊張したり、困ることもあると思います。そこで、ここではホームステイ、ホームビジットについて、いろいろな疑問にお答えしましょう。

Q1. ホストファミリーになったら外国語で話す良い機会になりますか？/家族は外国語がほとんど話せないの心配なのですが…。/ホームステイ(またはホームビジット)する留学生・外国人は日本語が話せますか？

A. 多くのホームステイ、ホームビジット希望者(ゲスト)は多少なりとも日本語が話せます。むしろ、ゲストたちは、日本語で接してもらいたいと思っています。ただ、日本語でのコミュニケーションが困難な場合は外国語を補助的に使っていただき、理解を深めていただければと思います。

とにかく笑顔で話しかけましょう。伝えようとする「こころ」を大切に！

Q2. 受け入れをするゲストはどのような人たちですか。

A. 「留学生ホームビジット交流」では、県内の大学等に在籍する留学生です。中国・韓国などアジア出身の留学生がほとんどです。

「他機関が実施する行事に係るホームステイ・ホームビジット」では、世界各国の方がホストファミリーとの交流を希望します。年代も様々です。

Q3. 受け入れ期間中どのように過ごしてもらったらいいでしょうか？

A. ゲストと相談しながら決めるのがいちばんです。

ホームビジットまたは短期のホームステイの場合は、本来、「家庭での生活」を体験するのが目的ですが、受入期間が何日かにわたる場合は一緒に外出するのもいいでしょう。

外出に際しては、緊急時や迷ったときなどの連絡先などを確認しておきましょう。

長期のホームステイの場合は、ゲストがひとりで出かけることも多いので、門限(ホストファミリーに迷惑がかからない程度)も決めておいた方が良いでしょう。

また、ゲストが手伝いを申し出たときは、気軽に手伝ってもらってください。一緒に何かをすることが家族に早く溶けこむきっかけになります。

食事について

特にご馳走をつくる必要はありません。ゲストは日本の普段の家庭を体験したいと思っていることを忘れずに。ただ、宗教上、思想上、健康状態などによって食べられないものがあるかどうかは確認しておきましょう。一緒に買い物をして、本人に好きなものを実際に選んでもらうのもひとつの方法です。そして遠慮なく食べられるような雰囲気をつくってあげましょう。

イスラム教徒、ユダヤ教徒……一般的に豚・ラードやこれらを使った加工食品であるハムやソーセージは食べません。牛や鶏でもイスラム教の作法を遵守した切り方のもの（ハラール）でないと食べないという方がいます。

※ ヒンズー教徒……一般的に牛肉は食べません。

※ 菜食主義者（ベジタリアン）……一般的に肉や魚は食べません。ただし、全く動物性食品を食べない人や乳製品は食べる人など、程度に個人差があります。

入浴、トイレについて

ゲストの中には、お風呂はシャワーがあったほうが良いという方や、トイレは様式でないとダメという方がいます。家の設備をあらかじめ説明しておきましょう。

また、実際に受け入れて家の中を案内する際には、それぞれ使い方を教えてあげましょう。特にお風呂については、入浴の仕方を説明しておきましょう。普段、当たり前と思っていることでも、相手にとって必ずしもそうではありません。

部屋について

宿泊を伴う場合は、部屋が個室か共同か、また布団かベッドかを伝えておいてください。

長期のホームステイの場合は、ごみの処理や洗濯、家事の手伝いなどの方法や分担についても話し合っておきましょう。受け入れる前に家族でルールを作っておくと説明しやすいです。

受け入れた時点で、食堂、居間など、使用する場所を順次見せてあげましょう。

費用について

事前に確認しなかったために、トラブルのもとになってしまいますことがいちばん多いのが、この滞在にかかる費用についてです。

長期のホームステイの場合は、食費、諸経費等をひと月毎に決めるなど、わりと決めやすいものですが、短期の場合はあいまいになりがちです。

滞在の期間にかかわらず、はじめにははっきりと話し合っておいた方が良いでしょう。

家庭内の諸経費だけではなく、家族とともに外出する際の支払い（基本的にはゲスト本人負担です）、また国際電話等の通話料の支払い方法なども同様です。

その他

受け入れるまでに時間の余裕があれば、受け入れるゲストの国がどんな国なのかを少し調べてみると良いでしょう。

例えば、その国の地理、簡単な歴史、習慣、宗教などについてほんの少し知っているだけで、話題はずっと広がりますし、誤解も少なくなるでしょう。

Q4. 会話をするとき気をつけることはありますか？

A. 内容的には特にありません。

相手が外国人であっても日本人であっても大切なのは相手の話、そして意見を聞くということです。生まれ

育った環境によって、宗教、思想、常識などはさまざまです。自分の意見を伝えることももちろん大切ですが、決してそれを押しつけてはいけません。

Q5. 滞在中に病気やケガをしたら？

A. もちろん、病院で診てもらうことが最優先ですが、あわせて本人が保険(国民健康保険、旅行保険等)に加入しているかどうかを確認します。ほとんどの方が何らかの保険に加入しているはずですが、加入していても証明書を持ち合わせていない場合、病院で診察、治療を受ける費用がかなり高額になることがあります。費用については、必ず領収書をもっておきましょう。証明書を持ち合わせていなかった場合は、後日自己負担分を差し引いた金額が返金されます。(詳しい手続きは加入している保険会社等で確認してください。)

Q6. お別れするときにはおみやげなどをあげるべきでしょうか？

A. 高価な品物をおみやげにもらって、逆にびっくりして困ってしまった・・・というゲストの話をよく聞きます。家に招かれ、食事をいただき、時をともに過ごせたことで十分すぎるほどのもてなしをすでに受けています。

あげるとすれば、ホームステイ・ホームビジットの思い出や記念になるもの(写真、寄せ書きなど)が良いでしょう。ゲストにとって最大のおみやげは、ファミリーとの温かい思い出なのです。

これをきっかけとして交流が続くように、心のつながりを大切にしましょう。

Q7. ホストファミリーに登録したあと、実際の受け入れまでどのような流れになりますか？また、必ず受け入れをしなければなりませんか？

A. ホームステイ、ホームビジットの依頼がきましたら、まずこちらでゲスト側の条件と照らし合わせ、受け入れ可能かどうか電話(または email、FAX)にてご都合をお伺いします。

問題がないようであればゲストを紹介して、ホームステイ・ホームビジットの受け入れのご検討をしていただきます。

もし、登録後事情が変わったことで受け入れができない場合は、お伺いの際にお断りいただいても構いません。

ホストファミリーのご希望とゲストの条件が合わない場合は、ゲストをご紹介できない場合があることをご了承ください。

Q8. ホストファミリー登録を休会、または退会したいのですが、また更新する機会がありますか？

A. ホストファミリーを休会・退会希望、また住所変更などあった場合は、速やかにご連絡ください。

また、ホストファミリーボランティアにご登録いただいた方には(休会家庭も含む)、2年に一度登録更新伺いの書類をお送り致します。